



JR 連合 NEWS

JR 産業に集う
すべての仲間の
JR 連合への
総結集を！！

2023 年度

No. 10

2023年7月13日

日本鉄道労働組合連合会

JR 北労組第 22 回定期大会

結成20年を機に組織拡大に邁進する決意を確認！

JR 北労組は 7 月 8 日、札幌市内において第 22 回定期大会を開催した。「安全の確立と、誰もが安心して働き続ける事ができる職場の構築を通じて、民主化闘争完遂、JR 北海道の経営自立を目指し、JR 産業の持続的成長と組合員・家族の幸せを実現しよう！」をメインスローガンに、2023 年度の運動方針を満場一致で決定した。来賓として連合北海道、北海道交運労協の代表のほか、大築紅葉衆議院議員、勝部賢志参議院議員らが出席し祝辞を述べた。JR 連合からは荻山市朗会長が出席した。



昆弘美中央執行委員長（JR 連合副会長）は挨拶で主要課題である「安全の確立」「JR 北海道の経営課題」「組織課題」「離職問題」についてそれぞれ提起した。組織課題に関して「昨年、多くの新規採用者が加入し、私たちの運動の正しさに自信を与えてくれた。全員が『決断に間違いはなかった』と言ってくれている。大会以降も 5 名が加入した。多くの北鉄労組組合員は彼らの横暴な運動に嫌気が差している。これまでの成果を糧に、一丸となって組織拡大に邁進することを決意しよう」と訴えた。また 10 月に結成 20 周年の節目を迎えることから「JR 北労組結成の意義を全体で再確認し、全組合員が団結し総行動しよう」と呼び掛けた。

荻山会長は「JR 産業の持続的成長へ JR に働くすべての仲間の総結集と JR 連合と JR 全社との信頼関係の確立は社会的要請だ。とりわけ経営が厳しく課題が山積する JR 北海道には、JR 連合・JR 北労組との連携が必ず求められる。結成 20 年を節目に組織拡大へ奮起していただきたい。皆さんの力を結集すれば必ず成果は得られる。正念場に臨むにあたり、JR 連合はあらゆる支援を惜しまない」と挨拶した。

新規加入者から力強い決意、離職防止・組織拡大の具体策を熱く討議！

大会にはこの 1 年間の新規加入者 4 名が参加し、「JR 北労組の正しさを確信している」など力強く決意を述べた。

議事に対しては、離職防止や組織拡大の課題を中心にのべ 11 名が発言した。挨拶もない職場環境、離職の続く厳しい実態などの報告とともに、組織拡大を通じてこの状況を変えるために、JR 連合・JR 北労組からの情報、組織拡大の成功事例や加入者の問題意識の共有などを求める意見が出され、熱心に討議した。

人見圭一書記長の集約答弁を受けてすべての議案を満場一致で可決し、結成 20 周年の節目に臨む決意を固め合った。



新規加入者の皆さん